

BACK TO THE STARTING POINT

切山 英彦 記

2010/06/15

地球温暖化、気候変動、オゾン層破壊、酸性雨など項目を言えば限が無いほど地球環境が急速に悪化（変化）している。地球の歴史を逆戻りの様相である。

其の事は有限の地球資源を活用し、物的な利便性や豊かさの追求に偏重した生活要求や経済活動を続けてきた結果である、と思う。

高度先進技術の進展に相まって高度情報化、国際化、地球規模でのボーダレス化が急速に進み其の事が上記経済活動を急加速させた。

正に豊かな生活の保障の為の高度経済成長とは裏腹に成長を享受すべき主体者、即ち人間の健康、安全や将来世代の生命、発展に対する大危機という矛盾と結果に直面している。

今、何故、地球環境なのか！？を理解し、納得する一助として大地（地球）と生命誕生の歴史が良い教本になると思う。

例えば、原始地球が出来たのは約46億年前、地球上に生命が誕生して40億年の歴史を持つ、高度20km～50km領域に紫外線を吸収するオゾン（層）を生成し地上で生物が安全な生活が出来る環境が生まれたのが約4億年前、恐竜が登場したのが2億3千年前、そして忽然と姿を消したのが6千5百万年前、霊長類が出現したのも同じ時期、現生人類と変りのない特徴を持った新人が世界各地に現れたのが2万～1万年前、彼らは金属を使用するようになり農耕革命（植物栽培、動物の家畜化）を起こした。などなど

環境悪化（変化）と防止、環境再生を考える時、国際、国、企業、地域など、それぞれのステージでの対応と連携が必要である。いずれにしても人間そのものが主役であり自らの生活と環境に対する意識が最も重要な要素となる。

人間が人間として命を授かり人間らしく豊かに健全に生き、暮らしていくための重要な条件に豊かな自然環境が欠かせない。

私は67歳の現役経営者として又、個人として自然環境、地球環境に不注意、不十分であったことを反省し、残念に思っている。

この先は今ある素晴らしい自然環境を守り、自然を再生させ、地球環境を念頭に置き持続可能な発展を目指したい。